

海軍公報

第六百八號

大正三年八月二十二日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第三四二一號
檢視ニ於テ軍醫官ノ立會ニ關スル件左ノ通改正ス

大正三年八月二十二日

海軍大臣 八代 六郎

④ 海軍省官房一九二三年

第一部勤務ヲ命ス(海軍教育本部)

海軍中佐 小牧 自然

○辭令

- 一 海軍檢察官海軍軍人軍屬ノ變死者ヲ檢視スル場合ニ於テ變死者所在ノ地ニ其ノ所屬應在ルトキハ廳長ニ對シ軍醫官ノ派遣ヲ請求スルコトヲ得
- 二 變死者所在地ニ其ノ所屬應在ラサルトキ、變死者ノ所屬廳ニ軍醫官在ラサルトキ又ハ特ニ急速ヲ要スルトキハ變死者所在地ニ在ル廳長ニ對シ亦同シ各廳長前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ所屬軍醫官ヲシテ檢視ニ立會ハシムヘシ
- 三 憲兵海軍軍人軍屬ノ變死者ヲ檢視スル場合ニ於テハ第一項ノ例ニ依リ軍醫官ノ派遣ヲ請求スルコトヲ得
- 四 各廳長前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ支障ナキ限リ其ノ所屬軍醫官ヲシテ檢視ニ立會ハシムヘシ

海軍公報第六百八號

大正三年八月二十二日

六五九

0875

(秘 外 部)

海軍公報第六百八號附錄

大正三年八月二十二日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第二四二二號
特設船舶ノ定員中必要ニ依リ船員ヲ以テ充用スル場合ニ於テハ其ノ身分ハ軍屬トシ職務ニ應ジ士官准士官若ハ下士卒ノ待遇トシ相當部署ニ配置スルコトヲ得但シ豫メ其ノ事由ト當該船員ノ職氏名ヲ具シ本大臣ノ認許ヲ受クル儀ト心得ヘシ
大正三年八月二十二日
海軍大臣 八代 六郎

○通牒

經豫第三九四號
大正三年八月二十二日

海軍省經理局長 志 佐 勝

各海軍經理部長殿
各現金前渡官吏殿

歐洲事件費整理規程實施以前ニ於テ經常軍事費ニテ前可然
金渡ヲナシタル經費ハ科目更正ヲ要セス其儘整理相成
存通知ス

海軍公報第六百八號附錄

○辭令

(各通) 海軍造兵大技士 渡邊 貫三郎
海軍技師 山下 茂太郎
魚形水雷改良調査委員ヲ命ス(均シ海軍省)

○艦船所在

▲印ハハホヲ
指定ヲ要セス

○八月二十二日午前十時調

- 【横須賀】 河内、宗谷、津輕、相模、ト潮州▲、香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立、ト夕風、疾風、山彥、ト夕霧、叢雲、關東丸、栗橋丸、若宮丸、小樽丸、玄海丸、水六七、水七〇、白鷹、雄、ト鴻、鷗
- 【横濱】 口水七一、水六八
- 【函館】 口水二九
- 【三尻】 口水六六
- 【得撫】 武藏
- 【片岡】 大和
- 【吳】 ト伊吹▲、千代田、安藝▲、ト春日、周防、富士、扶桑、淺間、龍田▲、丹後、生駒▲

0876

駒橋、□春風、□潮、□若葉、□朝風、□子日、□韓崎、□潛一〇、□潛一一、□潛一二、□椅子山丸、□水五九、□水五八、□潛一、□潛二、□潛六、□潛七、□潛八、□潛九、□潛一三、□歷山丸、□豐橋丸、□梅丸、□硯海丸、□八幡丸、□潛三、□潛四、□潛五

【豊後水道】

追風
榛名、□初雪、□初春

【神門】

殿島
鶴□三笠、□吾妻、□日進、□見島、□鹿島、□新高、□淀橋丸、□千鳥、□鶴、□水七五、□水七三、□水七二、□水七四

【敦賀】

眞鶴、□筆
佐世保□攝津、□高千穂、□筑摩、□薩摩、□矢矧、□音羽、□彌生、□有明、□吹雪、□靛、□如月、□初霜、□神風、□山風、□海風、□巨橋、□松風、□櫻、□敷島、□肥前、□笠置、□沖島、□秋津洲、□朝霧、□白露、□夕立、□三日月、□夕暮、□白雪、□村雨、□水三三、□水六一、□水六〇、□熊野丸、□宮島丸、□撫順丸、□神通丸、□擇捉丸、□琉球丸、□鹿兒島丸、□福州丸、□雲雀、□鶉

【長馬】

霧島、□鷺、□鷓
最上、□須磨、□不知火、□薄雲

【旅順】

蒼鷹、□鶴
□雁、□燕

【大連】

對馬、□隅田、□伏見、□宇治、□淀、□海

【桑港】

嵯峨、□鳥羽、□松江
出雲

【航海中】

響(十八日横須賀發佐世保へ)
長月、□菊月、□卯月、□水無月(十八日佐世保發吳へ)
三河丸(十八日佐世保發)
猿橋丸(十九日佐世保發)
千歳、□八雲、□常磐、□利根、□白妙、□野分、□綾波、□磯波、□浦波、□朝潮、□白雲、□陽炎(佐世保發)
高崎丸(二十一日吳發長崎へ)
平戸、□石見(二十一日吳發佐世保へ)
筑波(二十一日横須賀へ向ふ)
阿蘇(二十一日舞鶴發徳山へ)
朝鮮丸(二十一日吳發佐世保へ)
三池丸(二十一日佐世保發)
鞍馬、□磐手(二十一日佐世保へ向ふ)
明石(二十一日旅順發)
時雨(二十一日吳發神戸へ)
金剛(二十一日佐世保發横須賀へ)
曙(二十一日小樽發函館へ)
千早(二十一日大湊發函館へ)

○ 雜款

○ 旗艦變更
第一艦隊司令長官旗艦ヲ本月二十一日金剛ヨリ攝津ニ
變更

○ 郵便物送付先
軍艦宗谷宛郵便物ハ八月二十五日ヨリ同三十一日迄ニ
到達見込ノモノハ吳ヘ、其以後ハ江田島ヘ發送相成度
旨通知アリ
軍艦河内宛郵便物ハ八月二十四日ヨリ佐世保郵便局氣
付ニテ發送相成度旨通知アリ

懲罰言渡書

海軍公報第六百八號附錄

0878

海軍公報

第六百九號

大正三年八月二十三日(日)

海軍大臣官房

○辭令

○大正三年八月二十二日

任海軍技手

給九級俸

中森 巳之助

海軍技手

中森 巳之助

舞鶴海軍工廠附ヲ命ス(切正海軍省)

海軍公報第六百九號

大正三年八月二十三日

六六一

0879

(秘 外 部)

海軍公報第六百九號附錄

大正三年八月二十三日(日)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二四三一號
當分ノ間戰地ノ外陸上ニ在リテハ海軍服裝令第二十四條ニ依ル長劍ヲ佩用スルニ及ハス
大正三年八月二十三日
海軍大臣 八代 六郎

參照 海軍服裝令(抄録)
第二十四條 戰時軍艦又ハ演習等ノ際ハ軍裝ニ長劍ヲ佩用スヘシ但シ海軍大臣ノ特ニ定メタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

○通 牒

艦本第三六五四號
大正三年八月二十三日
海軍艦政本部長 村上 格一
各工作廳長殿
共濟組合員ニシテ海陸軍ニ召集セラル、モノニ關スル件
本件ニ關シ左ノ通り電報應答有之候

海軍公報第六百九號附錄

右通知ス

(海軍艦政本部宛佐世保海軍工廠電報)
共濟組合員ニシテ海陸軍ニ召集セラレ解備スルモノハ官ノ都合ト解釋セラレタシ御都合如何
(佐世保工廠長宛艦政本部長)
答、共濟組合員ニシテ此ノ際海陸軍ニ召集セラレ解備スルモノハ官ノ都合ニヨリタル者ニ準シ差支ナシ

○艦 船 所 在

▲印ハ(ハ)ホノノ指定ヲ要セス

○八月二十三日午前十時調

- 【横須賀】 河内、宗谷、津輕、相摸、▽瀧州▲、香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立、▽夕風、疾風、山彦、▽夕霧、叢雲、關東丸、栗橋丸、若宮丸、小樽丸、玄海丸、▽水七一、水六八、白鷹、雄、▽水六七、水七〇
- 【函館】 千早、▽水二九
- 【三 廐】 水六六
- 【得 撫】 武藏
- 【片岡】 大和

【奧】 卜淺間、千代田、安藝、春日、富士、

扶桑、伊吹、龍田、丹後、生駒、駒橋、

追風、春風、韓崎、潜一〇、潜一一、潜一二、

椅子山丸、水五九、水五八、潜一、潜二、潜六、

潜七、潜八、潜九、潜一三、歷山丸、豊橋丸、

梅丸、硯海丸、八幡丸、潜三、潜四、潜五、

【德】 阿蘇

【戸】 榛名、初雪、村雨

【神】 駿島

【門】 三笠、吾妻、日進、見島、鹿島、

【舞】 淀橋丸、千鳥、鶴、水七五、水七三、

水七二、水七四

【教】 賀、真鶴、俣

【佐世保】 卜攝津、卜鞍馬、卜磐手、高千穂、筑摩、

薩摩、矢矧、音羽、彌生、有明、吹雪、

萩、如月、初霜、神風、山風、海風、

【橋】 松風、櫻、敷島、肥前、笠置、

【沖島】 秋津洲、朝霧、白露、夕立、三日月、

夕暮、白雪、長月、菊月、卯月、水無月、

【水三三】 水六一、水六〇、熊野丸、宮島丸、撫順丸、

【擇捉丸】 琉球丸、鹿兒島丸、福州丸、朝鮮丸、

【沙首丸】 雲雀、鶉

【長崎】 霧島、巨巖

【馬公】 最上、須磨、不知火、薄雲

【旅順】 巨巖、蒼鷹

【大連】 蕨、鶴

【上海】 對馬、隅田、伏見、宇治、淀、

嵯峨、鳥羽、松江

【航海中】

響(十八日横須賀發佐世保へ)

三河丸(十八日佐世保發)

猿橋丸(十九日佐世保發)

卜千歳、八雲、常磐、利根、白妙、野分、綾波、磯波、

浦波、朝潮、白雲、陽炎(佐世保發)

高崎丸(二十一日吳發長崎へ)

平戸、石見(二十一日吳發佐世保へ)

筑波(二十一日横須賀向)

三池丸(二十一日佐世保發)

明石(二十一日旅順發)

金剛(二十一日佐世保發横須賀へ)

時雨(二十一日吳發神戶へ)

神通丸(二十二日佐世保發)

【潮】 若葉、朝風、子日(二十二日吳發豊後水道へ)

【周防】 二十二日吳發佐世保へ)

【初春】 二十二日神戶發紀淡海峡へ)

【新高】 二十二日舞鶴發佐世保へ)

【出雲】 二十二日桑港發)

【鷗】 二十三日佐世保發)

○ 雜款

○ 旗艦變更
吳鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ本月十九日伊吹ヨリ淺間ニ變更セル旨報告アリ

○ 旗艦指定
舞鶴鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ本月二十日鹿島ニ指定セル旨報告アリ

○ 郵便物送附先
軍艦阿蘇宛郵便物送附先左ノ通り

八月三十一日迄ニ到着見込ノモノハ 吳へ
其後ノモノハ 江田内へ

第五艇隊宛郵便物ハ門司郵便局氣附ニテ發送相成度旨通知アリ

第一艇隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度旨通知アリ

第一艇隊司令部及第六十七號、第七十號宛ハ

横濱港務部氣付

第六十八號及第七十一號宛ハ

神奈川縣田浦局區内横須賀防備隊氣付

軍艦石見宛郵便物ハ佐世保郵便局氣付ニテ發送相成度旨通知アリ

運送船若宮丸宛郵便物ハ佐世保へ向ケ發送相成度旨通知アリ

0882

(秘 外 部)

海軍公報號外

發止〇令達

官房第二四三〇號
 海軍各部門ノ電報ニ使用スルタメ特設船舶、部隊用電
 報略語ヲ當分ノ間左ノ通定ム
 大正三年八月二十三日
 海軍大臣 八代 六郎

特設砲艦	三イ	三ハ	三リ	三ヲ					
特設水雷母艦	一イ	一ハ	一リ	一ヲ					
特設砲艦	三イ	三ハ	三リ	三ヲ	三ホ	三チ	三ル	三カ	
特設砲艦	宮島丸指	宮島丸指	琉球丸三マ	琉球丸三マ	宮島丸	撫順丸指	撫順丸指	南海丸監	
特設砲艦	小樽丸三ロ	小樽丸三ロ	撫順丸三チ	撫順丸三チ	宮島丸	撫順丸指	撫順丸指	南海丸監	
特設砲艦	小樽丸指	小樽丸指	撫順丸三チ	撫順丸三チ	宮島丸	撫順丸指	撫順丸指	南海丸監	
特設砲艦	三ホ	三チ	三ル	三カ					
特設砲艦	宮島丸	撫順丸指	撫順丸指	南海丸監					

海軍公報號外

運送船

四イ	四ハ	四リ	四ヲ	四ヨ	四ナ	四ソ	四ウ	四ヤ	四フ	四テ	四キ
沙首丸	鹿兒島丸	福州丸	福州丸	辨天丸	朝鮮丸	擇捉丸	神通丸	劍山丸	武洋丸	さかき丸	南海丸
四ロ	四ト	四ヌ	四ワ	四タ	四ラ	四ツ	四ノ	四マ	四コ	四ア	四ユ
沙首丸	玄海丸	福州丸	旭丸	辨天丸	朝鮮丸	三河丸	三池丸	劍山丸	梅丸	さかき丸	
四ホ	四チ	四ル	四カ	四レ	四ネ	四ム	四ク	四ケ	四ユ	四メ	
鹿兒島丸	玄海丸	武州丸	旭丸	擇捉丸	三河丸	神通丸	三池丸	武洋丸	梅丸	南海丸	

大正三年八月二十三日(日)

海軍大臣官房

0883

特設望樓及 遞信省所管 海岸局	九ハ 牛耳望樓	九イ 老鐵望樓	九ロ 白翎望樓	九ホ 蔚島望樓	特設部隊	七ハ 乙掃海隊 司令	七イ 甲掃海隊	七ロ 甲掃海隊 司令	七ホ 乙掃海隊	掃海船	六ハ 第六長門	六イ 第二長門	六ロ 第三長門	六ホ 第五長門	病院船	五イ 八幡	五ロ 九五	五ホ 八幡九軍 辭長	四ミ	四シ
	九ト 濟島望樓	九チ 鼻頭角望樓				七ト 艦船郵便 所	七チ 軍用電信取 扱所				六チ 第三西宗九									

備考

- 一、略語ノ使用法ハ總テ第八版海軍部内電報略語表ノ凡例ニ準ス
 - 二、本表ノ略語ハ之ヲ第八版海軍部内電報略語表ノ略語ト併合使用スルコトヲ得
- 例ハハ
- 「熊野丸主計長」ハ 一イツヲ
「小樽丸旅順著」ハ 三イリイ、チヤク

九リ	目斗望樓	九ヌ	惠山望樓	九ル	潮岬望樓
九ヲ	皆通望樓	九ワ	喜屋武望樓	九カ	平安名望樓
九ヨ	西表望樓	九タ	大瀬海岸局	九レ	
九ソ		九ツ		九ネ	

海軍公報號外

大正三年八月二十三日(日)

海軍大臣官房

○令達

官房第二四三七號
海軍戰時給與規則ハ本月二十三日ヨリ實施ス
大正三年八月二十三日
海軍大臣 八代 六郎

官房第二四三八號
左記艦船部隊ノ軍人軍屬ニハ本月二十三日ヨリ海軍戰時給與規則第六條ニ依リ増俸ヲ支給ス
大正三年八月二十三日
海軍大臣 八代 六郎

在役艦船練習艦艇及測
電燈ヲ除ク
特設船隻
特設部隊

官房第二四三九號
左記官衙ノ推土官以上候補生及軍屬ニハ海軍戰時給與規則施行細則第二十六條ニ依リ現金ヲ給ス
大正三年八月二十三日
海軍大臣 八代 六郎

- 海軍省
- 海軍軍令部
- 海軍艦政本部
- 鎮守府
- 海軍人事部
- 海軍港務部
- 海軍工廠
- 海軍經理部
- 海軍病院
- 海軍修理工場

官房第二四四〇號
海軍給與令ニ依リ在勤加俸ヲ給スル者ニハ海軍戰時給與規則ニ依リ増俸ヲ支給セス但シ在勤加俸ノ額増俸ノ額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ差額ヲ給ス
前項ノ規定ハ雇員傭人給與規則第九條ニ依リ増給ヲ給スル者ニ準用ス
大正三年八月二十三日
海軍大臣 八代 六郎

0885

官房第二四四一號

特設船舶乗組ノ職工ニハ戰時給與規則第十二條ニ依リ糧食ヲ給ス特設船舶ニ乗組マシムル人夫ニ糧食官給ノ必要アルトキ亦同シ

本令ハ大正三年八月十二日以後ノ給與ニ之ヲ適用ス
大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四四二號

海軍戰時給與規則第十一條及第十二條ニ依リ給與スル適宜ノ糧食ハ左ノ金額以內ヲ以テ支辨シ該金額以內ニテ支辨シ難キトキハ海軍大臣ノ認許ヲ經ヘシ但臨時至急ノ場合ニ於テ認許ヲ經ルノ暇ナキトキハ事後詳細其事由ヲ届出ツヘシ

常食 一食 十二錢
夜食 一食 四錢

運送船ニ乗組マシムル人夫ニ糧食官給ヲ要スルトキハ前項ニ依ラス一食十錢以內ヲ以テ支辨スヘシ
本令ハ大正三年八月十二日以後ノ給與ニ之ヲ適用ス
大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四四三號

海軍戰時給與規則ニ依リ支給スル食料ハ當分ノ間左ノ通定ム

一、海軍給與令施行細則第十九表ノ二ニ依リ支給スル食料ノ内海軍給與令第八十六條ニ依ル内地食料ハ

一食十錢同令第八十七條ニ依ル内地食料(休養食料)並第十九表ノ三乙ニ依ル食料ハ一食十二錢トス

二、望樓及軍用電信取扱所勤務ノ者ニ對シテハ特ニ左ノ食料ヲ支給ス

士官以上並高等文官 一食 二十錢

准士官判任文官及下士卒

北海道以外ノ内地望樓及内地軍用電信取扱所 一食 十二錢

其他ノ望樓及軍用電信取扱所 一食 十六錢

大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四四四號

海軍給與令施行細則第二十表備考第九號ヲ適用ス

大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四四五號

本年官房第二二九九號ハ朝鮮ニ於ケル糧食品ノ購買ニモ之ヲ適用ス

大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

参照 本年官房第二二九九號ハ本邦外ニ於テ糧食品時價騰貴シ得ル
件ナリ

官房第二四四六號

海軍戰時給與規則施行細則第十四條ノ規定ハ避クヘカ
ラサル事故ニ依リ食器ヲ亡失毀損シタル場合ノ外當分
ノ内之ヲ適用セス

大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四四七號

陸軍運送船其ノ他陸軍部内ニ在ル海軍下士卒ノ被服物
品ハ附近艦團其ノ他各部ニ於テ海軍運送船乘組海軍下
士卒ノ被服物品ハ所管鎮守府海兵團ニ於テ交付若ハ交
換スヘシ但所管鎮守府海兵團所在地外ニ在リテハ最寄
艦團其ノ他各部ニ於テ交付若ハ交換スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ運送船監督將校又ハ下士卒統率者ハ
被服物品交付表ヲ保管シ海軍給與令施行細則第百七條
ニ依リ請求書ヲ作り之ニ被服物品交付表ヲ添ヘ艦團其
ノ他各部ノ被服取扱主任ニ請求シ被服取扱主任現品ヲ
交付若ハ交換シタルトキハ交付表ニ記入シ之ヲ監督將
校又ハ下士卒統率者ニ返付スヘシ

大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四五二號

海軍公報號外

歐洲事件費整理規程ハ本月二十三日ヨリ之ヲ實施ス
大正三年八月二十三日

海軍大臣 八代 六郎

0887

海軍公報

第六百十號

大正三年八月二十四日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第二四五八號

自今戰地ニ在ル海軍下士卒ハ今回ノ大喪殘期中喪章ヲ
附スルニ及ハス

大正三年八月二十四日

海軍大臣 八代 六郎

○辭令

海軍軍醫少監 齋藤 恭三

商船學校學生志願者體格検査委員ヲ命ス(海軍省)

海軍公報第六百十號 大正三年八月二十四日

六六三

0888

(秘 外 部)

海軍公報第六百十號附錄

○令達

官房第二四五三號
第八版海軍部内電報略語表中左ノ通改ム
大正三年八月二十四日

海軍大臣 八代 六郎

- (ト)ノ部中「トタ」ノ欄ニ「豊橋丸」ト「トレ」ノ欄ニ「豊橋丸」指揮官ヲ加フ
- (カ)ノ部中「ガラ」ノ欄ニ「霞丸」ヲ加フ
- (マ)ノ部中「マノ」ノ欄ニ「卷雲丸」ヲ加フ
- (フ)ノ部中「フネ」ノ欄ニ「文月丸」ヲ加フ
- (コ)ノ部中「コフ」ノ欄ニ「駒橋丸」ヲ「駒橋ニ改メ」コ「ノ欄ニ「駒橋艦長」ヲ加フ
- (サ)ノ部中「サキ」ノ欄ニ「泉月丸」ヲ「サユ」ノ欄ニ「連丸」ヲ加フ
- (シ)ノ部中「シモ」ノ欄ニ「敷波丸」ヲ加フ

○通牒

官房第二四五四號ノ二

海軍公報第六百十號附錄

大正三年八月二十四日(月)

海軍大臣官房

大正三年八月二十四日

海軍次官 鈴木貫太郎

各鎮守府司令長官殿
各要港部司令官殿

軍需品ハ可成内地品ヲ使用セラレ度件別紙ノ通大藏次官ヨリ照會アリ
右通牒ス
(別紙)

官房秘乙第一二二〇號

時局ニ際シ外國へ臨時派遣ノ部隊ニ於テ要スル物資ハ正貨拂節約ノ趣旨ニ依リ出來得ル限り内地品ヲ購入充用セラル、様致度右及御照會候也

大正三年八月二十一日

大藏次官 濱口 雄幸

海軍次官 鈴木貫太郎殿

○辭令

海軍大尉 楠原淳一郎

敷設水雷改良調査委員ヲ命ス(海軍省)

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セス

○八月二十四日午前十時調

【横須賀】

河内、宗谷、金剛、津輕、相模、ト滿州▲

香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立、ト夕風、疾風、

山彥、ト夕霧、叢雲、關東丸、栗橋丸、小楢丸、

玄海丸、ト水七一、水六八、白鷹、雉、ト鴻、鷗

【横濱】

水六七、水七〇

【函館】

千早、ト曙、臘、水二九

【三浦】

ト水六六

【得撫】

武藏

【磐城】

大和

【奥州】

ト淺間、千代田、安藝▲、ト春日、富士、

扶桑、伊吹、龍田▲、丹後、生駒▲、駒橋、追風、

ト春風、韓崎、ト潜一〇、潜一一、潜一二、椅子山丸、

ト水五九、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、

潜一三、歷山丸、豊橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、

潜三、ト潜四、潜五

【神戶】

榛名、初雪、時雨、高崎丸

【門司】

嚴島、水五八

【佐伯】

ト潮、若葉、朝風、子日

【舞鶴】

吾妻、日進、見島、ト鹿島▲、淀橋丸、

ト千鳥、鶴、水七五、ト水七三、水七二、水七四

【敦賀】

真鶴、隼

【佐世保】

ト攝津、ト周防、鞍馬、ト磐手、高千穂、筑摩、

平戸、石見、ト薩摩、矢矧、ト音羽、ト彌生、有明、

吹雪、霞、響、ト如月、初霜、神風、ト山風、海風、

ト橋、松風▲、村雨、櫻、ト敷島▲、肥前、笠置、沖島▲、

朝霧▲、ト白露▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、ト長月、

菊月、卯月、水無月、ト水三三、水六一、水六〇、

熊野丸、宮島丸、撫順丸、琉球丸、鹿兒島丸、

劍山丸、汐首丸、雲雀、鴉、鶴

霧島、ト鷲

須磨、ト不知火▲、薄雲

雁、蒼鷹

燕、鶴

ト對馬、隅田、伏見、宇治、淀、嵯峨、鳥羽

【航海中】

松江(二十三日上海發馬公へ)

三河丸(十八日佐世保發)

猿橋丸(十九日佐世保發)

ト千歲、八雲、常磐、ト利根、ト白妙、野分、ト綾波、磯波、

浦波、ト朝潮、白雲、陽炎(佐世保發)

筑波(二十一日横須賀ニ向フ)

三池丸(二十一日佐世保發)

明石(二十一日旅順發)

神通丸(二十二日佐世保發)

初春(二十二日神戸發紀淡海峽へ)

新高(二十二日舞鶴發佐世保へ)
出雲(二十二日桑港發)
白雪(二十三日佐世保發)
福州丸(二十三日佐世保發)
最上(二十三日馬公發佐世保へ)
若宮丸(二十三日横須賀發佐世保へ)
三笠(二十三日舞鶴發)
秋津洲(二十三日佐世保發)
朝鮮丸、擇提丸(二十三日佐世保發)
阿蘇(二十三日徳山發吳へ)

○雜款

○旗艦變更
加藤第二艦隊司令長官旗艦ヲ本月二十三日鞍馬ヨリ周防ニ變更セル旨報告アリ

○旗艦指定
上村第二艦隊司令官旗艦ヲ本月二十三日秋津洲ニ指定セル旨報告アリ
山屋第一艦隊司令官旗艦ヲ八月二十四日金剛ニ指定セル旨報告アリ

海軍公報

第六百十一號

海軍大臣官房

大正三年八月二十五日(火)

0892

○令達

官房第二四六三號

此際海軍准士官下士卒任用進級試験ハ雜問ノ外便宜省

略スルコトヲ得

大正三年八月二十五日

海軍大臣 八代 六郎

○通牒

官房第二三四一號ノ四

大正三年八月二十五日

海軍次官 鈴木貫太郎

横須賀鎮守府司令長官殿
第一、第二艦隊

外國船「ル、シール」號及「ロレナ」號別紙ノ趣旨ニ依リ
不開港場寄港許可方遞信大臣ノ照會ニ對シ當省主管上
支障ナキ旨回答ノ末今般該免狀ヲ交付セラレタリ
右通牒ス

(別紙)

海軍公報第六百十一號

大正三年八月二十五日

六六五

第四百八十三號

不開港場寄港免狀

一 船名

一 國籍

一 種類

一 船主氏名及國籍

一 船長氏名及國籍

一 噸數

一 櫓ノ數

一 網具ノ裝置

一 回航ノ目的

一 航路

一 寄港地名

一 但軍港區域及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ
制限セラレタル區域ヲ除ク

一 別紙ノ通

一 本免狀有効期間ハ大正三年八月二十四日ヨリ同四年
八月二十三日迄トス但必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其
寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

「ル、シール」號

亞米利加合衆國

端艇

米國人エル、デー、ヒレス

同上

一噸未滿

ナシ

ナシ

娛樂及觀光

東京灣隅田川、江戸川、利根川

本支流霞ヶ浦

別紙ノ通

但軍港區域及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ
制限セラレタル區域ヲ除ク

別紙ノ通

本免狀有効期間ハ大正三年八月二十四日ヨリ同四年
八月二十三日迄トス但必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其
寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

右不開港場へ寄港ヲ許可ス

本免狀有効期間ハ大正三年八月二十四日ヨリ同四年
八月二十三日迄トス但必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其
寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

大正三年八月二十四日

遞信大臣 武富 時敏

(同裏面)

在橫濱米國人エル、デー、ヒレス所有船

「ル、シール」號航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
 - 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其檢査ヲ受クヘシ
 - 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘカラス
 - 四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ直ニ此免狀ヲ取消スヘシ
 - 五、此免狀ノ期間満了ノトキ又ハ免狀ヲ取消サレタルトキハ直ニ此免狀ヲ返納スヘシ
- 「ル、シール」號寄港地名
東京灣ノ沿岸隅田川、江戸川、利根川本支流ノ各兩岸霞ケ浦ノ沿岸
- 第四百八十四號
不開港場寄港免狀
- 一船 名 「ロレナ」號
一國 籍 亞米利加合衆國

一種 類

瓦斯發動機付端舟

一船主氏名及國籍

米國人エル、デー、ヒレス

一船長氏名及國籍

同上

一噸數

三噸未滿

一橋ノ數

ナシ

一網具ノ裝置

ナシ

一回航ノ目的

娛樂及觀光

一航路

東京灣隅田川、江戸川、利根川本支流霞ケ浦

一寄港地名

別紙ノ通

右不開港場へ寄港ヲ許可ス

本免狀有効期間ハ大正三年八月二十四日ヨリ大正四年八月二十三日迄トス但必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

大正三年八月二十四日

遞信大臣 武富 時敏

(同裏面)

在橫濱米國人エル、デー、ヒレス所有船

「ロレナ」號航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其檢査ヲ受クヘシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ

0893

表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘ
カラス

四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ
直ニ此免許ヲ取消スヘシ

五、此免狀ノ期間滿了ノトキ又ハ免許ヲ取消サレタル
トキハ直ニ此免狀ヲ返納スヘシ

「ロレナ」號寄港地ハ「ル、シール」號寄港地ニ全シ

海人第一〇四號

大正三年八月二十五日

海軍省人事局長心得 向井 彌一

各廳長殿

宿所通知ノ件

海軍准士官以上履歴書及身上取扱規則第十一條ニ依ル
宿所ノ通知ヲ遺漏セラル、向不尠候ニ就テハ此ノ際更
ニ現宿所(本人ト家族ト宿所ヲ異)ヲ當局ニ通知有之様御取
計相成度

追テ右通知以後移轉ノ向ハ其ノ都度通知セシメラレ
度尙該通知書ニハ必ス官名ヲ記載スルヲ要シ候ニ付

申添候

右申進ス

參照

海軍准士官以上履歴書及身上取扱規則

第十一條 高等武官、候補生及准士官ハ所屬長ヲ經テ宿所ヲ人

事局長(其ノ在籍領守府ノ人事部長)ニ通報スヘシ轉居シタ
ルトキ亦同シ

經豫第三九七號

大正三年八月二十五日

海軍省經理局長 志 佐 勝

各委任仕拂命令官殿

歐洲事件費支出ノ狀況ハ急速之ヲ知悉スルノ必要有之
候ニ付毎旬別紙様式ニ基キ支出現況旬報ヲ作り其ノ都
度速ニ送附可有之

右通達ス

追テ旬報ハ八月三十一日迄ノ分ヲ第一回トシ爾後每
月十日、二十日及月末ニ調製送付相成度又一旬中支
出無之トキハ其旨通知可有之

(別紙)

0894

備考

大正何年度

歐洲事件費

支出現況旬報

何應

一、仕拂命令高並前渡仕拂命令高ノ欄
 ニハ前旬迄ノ命令高ヲモ併算掲記ス
 ルモノトス
 二、支出未済高ノ欄ハ工物件購買運搬等
 契約未済高ノ欄ハ又物件ノ借入契
 約ニシテ永續ノモノハ其月未拂ノ分
 ノ他既ニ債務ヲ生シ未拂ニ屬スルモ
 ヲノ掲記スルモノトス

科 目	細 別	現豫算額	何年何月何日迄				支 出 未 済	出 高	豫算残高	備 考
			仕 拂 命 令 高	前 渡 仕 拂 命 令 高	計	計				
俸 給	航海加俸									
何々	何々									
	合計									

何年何月何日

委任仕拂命令官 職氏名 ㊦

經理局長宛

○辭令

○大正三年八月二十四日

任海軍書記

給月俸貳拾貳圓

高田耕二郎

海軍書記

高田耕二郎

海軍艦政本部附ヲ命ス(切註海軍省)

海軍中佐

大石正吉

軍艦霧島ノ艦裝ニ從事スヘシ(切註海軍艦政本部長)

海軍公報第六百十二號

大正三年八月二十五日

六六九

0896

(秘 外 部)

海軍公報第六百十一號附錄

大正三年八月二十五日(火)

海軍大臣官房

○通牒

官房第二四六四號

大正三年八月二十五日

海軍次官 鈴木貫太郎

關係所屬長官殿

備入船舶報告ノ件

時局ニ關シ特設船舶ヲ備入レタルトキハ其ノ都度、船名、總噸數、備入年月日、備入料及備入期間ヲ經理局長ニ報告セシメラレ度
右通牒ス

官房第二四六五號

大正三年八月二十五日

海軍次官 鈴木貫太郎

關係所屬長官殿

備上船舶ノ件

海軍省ニテ備上ノ船舶中貴所管ニ屬スルモノハ其ノ都度左ノ事項ヲ經理局長ニ報告セシメラレ度

海軍公報第六百十一號附錄

船名	船長ヨリ引渡ヲ受ケタル年月日	回航用(備入地ヨリ)石炭量(實地マテ)	引渡當時ノ炭量	記	事
----	----------------	---------------------	---------	---	---

(備考) 特設船舶ニシテ固有船員ヲ下船セシタルトキハ其ノ年月日トモ

右通知ス

艦本第三六九二號

軍艦駒橋短艇目標文字左ノ通定ム

艦名 駒橋 目標文字 こま

右通牒ス
大正三年八月二十五日

海軍艦政本部長 村上格一

艦本機密第八三七號

大正三年八月二十五日

海軍艦政本部長 村上格一



0897

各鎮守府司令長官
各工廠長
第二、三艦隊司令長官(司令官)殿
各要港部司令官

艦營需品供給整理ノ件

第一、第二、第三艦隊ノ各艦船、艦戰隊司令部、軍艦伊吹、出雲、筑摩、特設船舶部隊ニ要スル艦營需品備品ハ定數内、消耗品ハ定數外ノ必要數ヲ主管別豫算外ニテ又行動需品ハ行動豫算外供給スルコトヲ得ル義ト御承知相成度
右通牒ス

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セス

○八月二十五日午前十時調

【横須賀】 河内、宗谷、ト金剛、津輕、相摸、ト滿州▲、

香取、朝日▲壹岐▲橋立、ト夕風、疾風、山彦、

ト夕霧、叢雲、關東丸、栗橋丸、小樽丸、玄海丸、

ト水七一、水六八、白鷹、雉、ト鴻、鷗

ト水六七、水七〇

【函館】 千早、水二九

【三浦】 巨水六六

【得撫】 武藏

【乙前】 大和

【吳】 ト淺間、阿蘇、安藝、ト春日、富士、扶桑、

龍田▲丹後▲生駒▲駒橋、追風、ト春風、韓崎、

ト潜一〇、潜一一、潜一二、椅子山丸、ト水五九、

潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、潜一三、

歷山丸、豊橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、潜三、

ト潜四、潜五

【阿多田島】 伊吹

【神戶】 榛名、時雨、初春、高崎丸

【門司】 嚴島、水五八

【佐伯】 巨潮、若葉、朝風、子日

【舞鶴】 吾妻、日進、見島、ト鹿島▲、淀橋丸、

ト千鳥、鶴、水七五、ト水七三、水七二、水七四

【敦賀】 眞鶴、集

【佐世保】 巨攝津、高千穂、筑摩、平戸、ト薩摩、松風、

村雨、ト敷島▲、肥前沖島▲、新高▲、ト白露▲、夕立▲、

三日月▲、夕暮▲、ト長月、菊月、卯月、水無月、

ト水三三、水六一、水六〇、熊野丸▲、宮島丸▲、

撫順丸、琉球丸、鹿兒島丸、劍山丸、沙首丸、雲雀、

鷗鷯

【長崎】 霧島、ト鷲

【馬公】 須磨、ト不知火▲、薄雲

【旅順】 蒼鷹

【大連】 鶴

【上海】 ト對馬、阴田、伏見、宇治、淀、嵯峨、鳥羽

【航海中】

三河丸(十八日佐世保發)
 猿橋丸(十九日佐世保發)
 千歲、八雲、常磐、利根、白妙、野分、綾波、磯波、
 浦波、朝潮、白雲、陽炎(佐世保發)
 筑波(二十一日橫須賀ニ向フ)
 三池丸(二十一日佐世保發)
 明石(二十一日旅順發)
 神通丸(二十二日佐世保發)
 出雲(二十二日桑港發)
 白雲(二十三日佐世保發)
 福州丸(二十三日佐世保發)
 最上(二十三日馬公發佐世保)
 若宮丸(二十三日橫須賀發佐世保)
 三笠(二十三日舞鶴發)
 秋津洲(二十三日佐世保發)
 朝鮮丸、擇捉丸(二十三日佐世保發)
 磐手(二十三日佐世保發)
 矢矧、笠置(二十四日佐世保發)
 初雪(二十四日神戸發紀淡海峽)
 曙、隴(二十四日函館發大湊)
 鞍馬(二十四日佐世保發橫須賀)
 周防、石見(二十四日佐世保發)
 比叡(二十四日橫須賀發佐世保)
 燕(二十四日大連發旅順)
 雁(二十四日旅順發)

海軍公報第六百十三號附錄

音羽、彌生、有明、吹雪、霞、響、如月、初霜、神風、
 山風、海風、橋、櫻(二十四日佐世保發)
 千代田(二十四日吳發佐世保)
 朝霧(二十四日佐世保發)
 松江(二十四日上海發馬公)

○雜款

○旗艦變更
 上村第二艦隊司令官旗艦ヲ本日秋津洲ヨリ千歲ニ變更
 セル旨報告アリ

○赴任
 英國大使館附小栗孝三郎來ル二十九日新橋出發同日横
 濱出帆ノ「マンチュリア」號ニテ赴任ノ豫定

0899

海軍公報

第六百十二號

大正三年八月二十六日(水)

海軍大臣官房

○通牒

經給第三七號

海軍戰時給與規則施行細則第二十六條ノ給與ハ勸勉手當ト重複支給セズ其ノ多額ナル方ノミヲ支給スル筈
右通牒ス

大正三年八月二十六日

海軍省經理局長 志 佐 勝

○辭令

○大正三年八月二十五日

(各通) 海軍書記勳八等功七級 森田 勇介
海軍書記 石合 猪三郎

兼任海軍屬

海軍省人事局附ヲ命ス 海軍屬 森田 勇介

海軍屬 石合 猪三郎

海軍省軍務局附ヲ命ス(以上均海軍省)

海軍公報第六百十二號

大正三年八月二十六日

六七二

0900

(秘 外 部)

海軍公報第六百十二號附錄

○通牒

艦本機密兵第六一號
大正三年艦本機密兵第五七號本文ノ末尾ニ左ノ通り追
加ス

但シ改造工完了ノ時機ニ達スルマテ差當リ舊式銅
環ヲ用ユルコトヲ得此場合十二吋砲及十吋砲ニアリ
テハ彈室ノ狀況ニヨリ裝填後彈丸ノ滑落ヲ來スコト
アルヘク且ツ現定藥量表記載ノ藥量ヲ用ヒテ發射ス
ルトキハ之カ爲メ十二吋砲ニアリテハ規定初速ニ比
シ平均六米秒大ナル初速ヲ得ヘク十吋砲ニアリテハ
實用上顧慮ヲ要スヘキ程度ノ初速差ヲ生スルコトナ
シ

(本艦本機密兵號ハ印刷ノ上追テ配付ス)
大正三年八月二十六日
海軍艦政本部長 村上 格 一

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホフ
指定ヲ要セス

○八月二十六日午前十時調

【横須賀】ト金剛、津輕、筑波、相摸、ト滿州▲、香取、

海軍公報第六百十二號附錄

大正三年八月二十六日(水)

海軍大臣官房

- 【横】 朝日▲、壹岐▲、橋立、巨夕風、疾風、山彦、巨夕霧、
叢雲、關東丸、栗橋丸、小樽丸、玄海丸、巨水七一、
水六八、白鷹、雉、巨鴻、鷗
- 【函】 水六七、水七〇
- 【得】 千早、水二九、巨水六六
- 【柏原灣】 武藏
- 【吳】 大和
- 【龍田▲、丹後▲、生駒▲、駒橋、追風、巨春風、韓崎、
巨潜一〇、潜一一、潜一二、椅子山丸、巨水五九、
潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、潜一三、
歷山丸、豊橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、潜三、
巨潜四、潜五
- 【宮島沖】 伊吹
- 【神戶】 榛名、時雨、初春、高崎丸
- 【門司】 嚴島、水五八
- 【佐伯】 巨潮、若葉、朝風、子日
- 【舞鶴】 吾妻、日進、見島、ト鹿島▲、淀橋丸、
巨千鳥、鶴、水七五、巨水七三、水七二、水七四
- 【敦賀】 眞鶴、隼
- 【佐世保】 巨攝津、高千穂、筑摩、平戸、薩摩、松風、

0901

村雨、▷敷島▲、肥前沖島▲、新高、▷白露▲、夕立▲、
三日月▲、夕暮▲、▷長月、菊月、卯月、水無月、
▷水三三、水六一、水六〇、熊野丸▲、宮島丸▲、
撫順丸、琉球丸、鹿兒島丸、劍山丸、沙首丸、雲雀、
鶉、鶴

【長】 霧島、▷鷲
【馬】 須磨、▷不知火▲、薄雲
【旅】 峇歷
【大連】 雁、鶴
【上海】 阴田、伏見、鳥羽

【航海中】

三河丸(十八日佐世保發)
猿橋丸(十九日佐世保發)
▷千歲、八雲、常磐、▷利根、▷白妙、野分、綾波、磯波、
▷浦波、▷朝潮、白雲、陽炎(佐世保發)
三池丸(二十一日佐世保發)
明石(二十一日旅順發)
神通丸(二十二日佐世保發)
出雲(二十二日桑港發)
白雪(二十三日佐世保發)
福州丸(二十三日佐世保發)
最上(二十三日馬公發佐世保發)
若宮丸(二十三日橫須賀發佐世保發)

三笠(二十三日舞鶴發)
秋津洲(二十三日佐世保發)
朝鮮丸、擇提丸(二十三日佐世保發)
▷磐手(二十三日佐世保發)
▷矢矧、笠置(二十四日佐世保發)
初雪(二十四日神戶發紀淡海峽)
▷曙、隴(二十四日函館發大湊)
鞍馬(二十四日佐世保發橫須賀)
▷周防、石見(二十四日佐世保發)
比叡(二十四日橫須賀發佐世保發)
燕(二十四日大連發旅順)
▷音羽、▷彌生、有明、吹雪、霞、響、▷如月、初霜、神風、
▷山風、海風、▷橘、櫻(二十四日佐世保發)
千代田(二十四日吳發佐世保發)
朝霧(二十四日佐世保發)
松江(二十四日上海發馬公)
▷對馬、宇治、淀、嵯峨(二十四日上海發)
河内(二十五日橫須賀佐世保發)
宗谷(二十五日橫須賀發江田島)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十二驅逐隊司令驅逐艦ヲ八月十日綾波ヨリ浦波ニ變
更セル旨報告アリ

0902

○郵便物送付先
軍艦鞍馬宛郵便物ハ横須賀ニ向ケ發送相成度旨通知ア
リ

○見張所
鎮海灣加徳島東燈臺内へ見張所ヲ假設シ見張及信
號ニ従事セシム同見張所ト防備隊本部間ニハ鎮海要塞
司令部中繼ノ電話通信アリ(鎮海防備隊)

0903

海軍公報

第六百十三號

大正三年八月二十七日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第二三八六號ノ三
大正三年度歳出科目左ノ通追加ス
大正三年八月二十七日

海軍大臣 八代 六郎

歳出經常部

海軍本省	款	項	目	節	解	疏	會計科目
(俸給)							電信略號
			休職俸給				

○辭令

海軍教育本部附海軍編修書記 谷 ・ 信次
兼海軍軍令部附ヲ命ス(海軍省)

第三部附ヲ命ス(海軍艦政本部)

海軍書記 高田 耕二郎

○雜款

○滯在地變更
海軍中佐小倉卯之助、海軍機關大佐風間篤次郎ハ東京
へ滯在地變更ノ儀八月二十六日認許セラレタリ

海軍公報第六百十三號

大正三年八月二十七日

六七三

0904

(秘 外 部)

海軍公報第六百十三號附錄

大正三年八月二十七日(木)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホ、フ
指定ヲ要セズ

○八月二十七日午前十時調

【横須賀】

津輕、筑波、相模、卜滿州▲、香取、朝日▲、鞍馬、壹岐▲、橋立、卜夕風、疾風、山彦、卜夕霧、叢雲、關東丸、栗橋丸、小樽丸、玄海丸、水七一、水六八、白鷹、雉、卜鴻、鷗

【函館】

水七〇、水六七

【小舟灣】

千早、水二九、卜水六六

【柏原灣】

武藏、大和

【吳】

卜淺間、阿蘇、安藝、卜春日、富士、扶桑、龍田▲、丹後▲、生駒▲、駒橋、追風、卜春風、韓崎、卜潜一〇、潜一一、潜一二、椅子山丸、卜水五九、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、潜一三、歷山丸、豊橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、潜三、卜潜四、潜五

【神戶】

榛名、初春、高崎丸

【門司】

嚴島、水五八

【佐伯】

卜潮、若葉、朝風、子日

【舞鶴】

吾妻、日進、見島、卜鹿島▲、淀橋丸、卜千鳥、鶴、水七五、卜水七三、水七二、水七四

【敦賀】

真鶴、隼

【佐世保】

卜攝津、高千穂、平戸、薩摩、松風、村雨、卜敷島▲、肥前、津島▲、卜音羽、卜彌生、有明、吹雪、叢雲、卜如月、神風、卜山風、海風、卜橋、櫻、白露▲、夕立▲、三月月▲、夕暮▲、卜長月、菊月、卯月、水無月、卜水三三、水六一、水六〇、熊野丸▲、宮島丸▲、撫順丸、琉球丸、鹿兒島丸、劍山丸、三河丸、沙苗丸、雲雀、鶉

【長崎】

霧島、卜鷲

【馬場】

須磨、卜不知火、薄雲▲

【旅順】

鴿

【大連】

卜雁、蒼鷹

【上海】

陽田、伏見、鳥羽

【航海中】

猿橋丸(十九日佐世保發)
卜千歲、八雲、常磐、卜利根、卜白妙、野分、綾波、磯波、卜浦波、卜朝潮、白雲、陽炎(佐世保發)
三池丸(二十一日佐世保發)

海軍公報第六百十三號附錄

0905

明石(二十一日旅順發)
 神通丸(二十二日佐世保發)
 出雲(二十二日桑港發)
 白雪(二十三日佐世保發)
 福州丸(二十三日佐世保發)
 最上(二十三日馬公發佐世保發)
 若宮丸(二十三日橫須賀發佐世保發)
 鶴(二十三日佐世保發)
 三笠(二十三日舞鶴發)
 秋津洲(二十三日佐世保發)
 朝鮮丸、擇提丸(二十三日佐世保發)
 磐手(二十三日佐世保發)
 矢矧、笠置(二十四日佐世保發)
 初雪(二十四日神戸發紀淡海峽)
 曙、朧(二十四日函館發大湊)
 周防、石見(二十四日佐世保發)
 比叡(二十四日橫須賀發佐世保發)
 燕(二十四日大連發旅順)
 初霜(二十四日佐世保發)
 千代田(二十四日吳發佐世保發)
 朝霧(二十四日佐世保發)
 松江(二十四日上海發馬公)
 對馬、宇治、淀、嵯峨(二十四日上海發)
 河内(二十五日橫須賀發佐世保發)

宗谷(二十五日橫須賀發江田島)
 第二長門丸、第六長門丸、第八長門丸(二十六日佐世保發)
 伊吹(二十六日宮島沖發)
 時雨(二十六日神戸發紀淡海峽)
 金剛(二十六日橫須賀發)
 新高(二十六日佐世保發)
 筑摩(二十六日佐世保發)
 霞丸(二十六日佐世保發)

○雜款

○司令艇變更
 第一艇隊司令艇ヲ本月二十二日第七十一號水雷艇ヨリ第七十號水雷艇へ變更セル旨報告アリ

○郵便送付先
 第三戰隊各艦宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度旨通知アリ
 九月九日迄到着見込ノモノハ 第三戰隊司令部
 橫須賀郵便局
 九月六日迄到着見込ノモノハ 金剛、筑波
 函館郵便局
 鞍馬
 比叡宛ノモノハ當分ノ間佐世保郵便局

0906

海軍公報

第六百十四號

大正三年八月二十八日(金)

海軍大臣官房

0907

○通牒

經調第八四號

大正三年八月二十八日

海軍省經理局長 志 佐 勝

委任仕拂命令官
現金前渡官吏 宛

歐洲事件費ノ支出證明方法左ノ通定ム

- 一 委任仕拂命令官ヨリ提出スヘキ支出計算書ハ他科目ト別冊トナスコト
- 一 支出計算書並ニ仕拂計算書ニ對スル證據書類ノ内ニ科目ニ跨カルモノ(假ヘハ増俸、増給、航海加俸、下士卒特別加俸等ノ如キモノ)ハ便宜ノ爲メ各別ニ調製スルヲ要セス事件費ニ於テハ大體左ノ様式ニヨリ代用證ヲ以テ證明スルコト(様式)

原證書番號	種 類	金 額
軍事費 冊第何號 證第何號	俸給(目) 何々(細別)	金 何 程 (原證書ノ合計金額ヲ括クルコト)

右通達ス

經給第三九號

戰時特設船舶乘員ノ航海加俸ハ左ノ區分ニ依リ支給相成度

- 一 運送船及病院船乘員ノ航海加俸ハ總テ第六表ノ額
 - 二 特設水雷母艦、特設巡洋艦、特設砲艦及工作船乘員ノ航海加俸ハ軍艦ニ準ス但シ工作船工作長ノ航海加俸ハ機關長ニ準ス
- 右爲念通牒ス

大正三年八月二十八日

海軍省經理局長 志 佐 勝

○辭令

海軍監獄看守 甲野 榮明

明治三十七年勅令第百二十一號ニ依リ休職ヲ命ス(其旨ニ海軍省)

海軍公報第六百十四號

大正三年八月二十八日

六七五

○ 雜 款

○ 戰時起算時

八月二十七日吳鎮守府法務長ヨリ戰時ノ起算時ニ付電
報問合ニ對シ司法局長ハ左ノ通り回答シタリ
刑罰法令ノ適用上戰時ノ起算時ハ本月二十三日正午
トス

○ 著 任

海軍造兵廠會計部長關根海軍主計中監本日著任

(秘 外 部)

海軍公報第六百十四號附錄

大正三年八月二十八日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第二五〇四號
掃海隊ノ經費ハ佐世保海軍經理部ノ所掌トス

大正三年八月二十八日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二五〇五號

大正三年官房第二四三〇號特設船舶、部隊用電報略語表運送船ノ部中「四ユ」ノ欄ニ「遠江丸」、「四メ」ノ欄ニ「遠江丸監督官」ヲ加フ

大正三年八月二十八日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二四六〇號ノ五左ノ通艦船郵便所ヲ設置ス但シ事務開始ノ時期ハ追テ令達ス

大正三年八月二十八日

海軍大臣 八代 六郎

設置場所 名 稱
さかき丸 第一艦船郵便所 海軍大臣官房ニル

海軍公報第六百十四號附錄

福州丸 第二艦船郵便所
劍山丸 第三艦船郵便所
三河丸 第四艦船郵便所
神通丸 第五艦船郵便所

大正三年八月二十八日
大正三年八月二十八日
大正三年八月二十八日
大正三年八月二十八日

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「」指定ヲ要セス

○八月二十八日午前十時調

【横須賀】 鞍馬、津輕、筑波、相模、ト満州▲香取、朝日▲、壹岐▲、橋立、ト夕風、疾風、山彦、ト夕霧、叢雲、關東丸▲、栗橋丸、小樽丸、水七一、水六八、白鷹、雉、ト鴻、鷗

【横濱】 巨水七〇、水六七

【函館】 千早、水二九、巨水六六

【得撫】 武藏

【柏原灣】 大和

【吳】 ト淺間、阿蘇、富士、扶桑、龍田▲、丹後▲、生駒▲、駒橋、追風、韓崎、巨潜一〇、潜一一、潜一二、椅子山丸、巨水五九、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、潜一三、歷山丸、豊橋丸、梅丸、視海丸、八幡丸、潜三、巨潜四、潜五



0909

【倉橋灣】

安藝

榛名、初春、春風、初雪

【神戶】

殿島、水五八

【門司】

吾妻、日進、見島、鹿島、淀橋丸、

【佐伯】

千鳥、鶴、水七五、水七三、水七二、水七四

【舞鶴】

賀、真鶴、隼

【敦賀】

比叡、最上、村雨、敷島、肥前、

【佐世保】

沖島、白露、夕立、三日月、夕暮、

【長門】

長月、菊月、卯月、水無月、水三三、水六一、

【馬公】

水六〇、熊野丸、宮島丸、撫順丸、琉球丸、

【旅順】

若宮丸、第八長門丸、神通丸、鹿兒島丸、劍山丸、

【大連】

霧島、巨鷲

【上海】

須磨、松江、不知火、薄雲、

【大連】

蒼鷹、燕

【上海】

隅田、伏見、鳥羽

【航海中】

積橋丸(十九日佐世保發)

千歲、八雲、常磐、高千穂、千代田、利根、白妙、

野分、松風、綾波、磯波、浦波、朝潮、白雲、陽炎

(佐世保發)

三池丸(二十一日佐世保發)

明石(二十一日旅順發)

出雲(二十二日桑港發)

白雲(二十三日佐世保發)

福州丸(二十三日佐世保發)

鶴(二十三日佐世保發)

三笠(二十三日舞鶴發)

秋津洲(二十三日佐世保發)

朝鮮丸(擇捉丸(二十三日佐世保發))

磐手(二十三日佐世保發)

曙(二十四日函館發天濱)

周防、石見(二十四日佐世保發)

朝霧(二十四日佐世保發)

對馬、宇治、淀、嵯峨(二十四日上海發)

河内(二十五日橫須賀發佐世保)

宗谷(二十五日橫須賀發江田島)

第二長門丸、第六長門丸(二十六日佐世保發)

伊吹(二十六日宮島沖發)

時雨(二十六日神戶發紀淡海峽)

金剛(二十六日橫須賀發)

新高(二十六日佐世保發)

筑摩(二十六日佐世保發)

霞丸(二十六日佐世保發)

高崎丸(二十七日神戶發橫須賀)

亥海丸(二十七日横須賀發函館へ)

▷春日(二十七日吳發馬公へ)

沙首丸、第三西宗丸(二十七日佐世保發)

口攝津、薩摩、▷矢矧、笠置、平戸、▷音羽、区彌生、有明、吹雪、霞、響、区如月、初霜、神風、区山風、海風、区橋、櫻(二十八日佐世保發)

○雜款

○閉塞郵便、大正三年四月二十五日迄、此部廢止

軍艦伊吹筑摩、佐世保郵便局トノ間ニ閉塞郵便ヲ交換

スルコトニ相成候ニ付テハ本邦ヨリ發送スル郵便物ハ左記ノ通取計フコトト御承知相成度

一 信書肩書 佐世保郵便局氣付

一 宛名左側ニ「重艦郵便」ト朱書スルコト

一 料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

○郵便物送付先

第五艇隊司令部及第五十八號、第五十九號水雷艇宛郵便物ハ門司郵便局氣付トシテ發送相成度旨通知アリ



0911

海軍公報

第六百十五號

大正三年八月二十九日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第二五二二號

左記部隊ノ軍人軍屬ニハ本月二十七日ヨリ海軍戰時給與規則第六條ニ依リ増俸ヲ支給ス

大正三年八月二十九日

海軍大臣 八代 六郎



横須賀防備隊

佐世保防備隊

鎮海防備隊

馬公防備隊

旅順防備隊

望樓

無線電信所

官房第二五二三號

本年官房第二四三九號ニ左ノ各號ヲ加フ

大正三年八月二十九日

海軍大臣 八代 六郎

海軍造兵廠
水路部

○通牒

官房第二五二五號ノ二

宣戰奉告ノ爲本月二十九日午後二時靖國神社へ勅使トシテ掌典男爵久我通保參向且當日關係員除喪被仰出候旨式部長官ヨリ通牒アリタリ

大正三年八月二十九日

海軍省副官 谷口 尙真

艦本第三七七七號

大正三年八月二十九日

海軍艦政本部

各艦艇御中

神戸、門司ニ於テ石炭供給ノ件

神戸、門司ニ於テ海軍艦艇へ第二種和炭供給ニ關シ左記ノ通り契約締結相成候條必要ノ場合ハ該會社へ請求供給セシメラレ度尙同地會社ノ支店所在地ハ左ノ通ニ候

海軍公報第六百十五號

大正三年八月二十九日

六七七

0912

右通知ス

三井物産株式會社神戸支店 神戸市海岸通三丁目
三菱合資會社門司支店 門司市東湊町

契約書

海軍艦政本部長村上格一(以下甲ト稱ス)ト三井物産株式會社代表取締役社長三井源右衛門(三菱合資會社營業部長江口定條)(以下乙ト稱ス)ト神戸(門司)港ニ於テ本日ヨリ大正四年三月三十一日迄ノ間帝國海軍艦艇ニ石炭供給ニ關シ契約スルコト左ノ如シ
第壹條 乙ノ供給スヘキ石炭ノ品種及單價ハ左ノ通り
第二種和炭田川四尺塊炭(金田又ハ方城塊炭)
但別紙規格ニ適合ノモノ

此代價壹噸ニ付金九四五拾錢

第貳條 乙ハ石炭供給ニ必要ナル設備ヲ爲シ置キ艦艇ヨリ要求アリタルトキハ其指定スル期日ニ於テ艦艇舷側ニ運搬供給スルモノトス

第參條 乙ノ供給スヘキ石炭ハ艦艇機關長若ハ其代理官ノ検査ヲ經テ合格シタルモノニ限ルモノトス若シ不合格ノ場合ハ更ニ正當代品ヲ指定期日ニ供給スヘシ

第四條 甲ハ乙ニ於テ天災若ハ不可抗力ノ事故ニ因ルニ非ラスシテ艦艇ノ指定期日ニ遅レ受領セラレタルトキハ遅延日數一日ニ付其指定數量代價ノ千分ノ一ニ相當スル違約金ヲ納付セシムルモノトス
第五條 乙ハ甲ノ承諾ヲ得ルニ非ラサレハ本契約ヨリ

生スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ス

第六條 本品代價ハ供給ノ都度代金請求書受理後十五日以内ニ海軍省經理局ニ於テ仕拂フモノトス

但請求書ニハ當該艦艇ノ受領證明書ヲ添付スヘシ

第七條 前各條ノ外ハ明治二十九年三月海軍省告示第三號物品購買賣却規則ニ據ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書二通ヲ作り各自署名捺印シテ各其一通ヲ保有ス

大正三年八月二十六日(三菱)

海軍艦政本部長 村上 格一

三井物産株式會社代表取締役

社長 三井源右衛門

(三菱合資會社營業部長 江口 定條)

(規格ハ略ス)

○ 辭令

(各通)

海軍少佐 森 初次

海軍少佐 今村 信次郎

英國駐在中加俸參千五百圓ヲ給ス

海軍大尉 上村 從義

英國駐在中加俸參千參百圓ヲ給ス

海軍軍醫中監 鈴木 寬之助

英國駐在中加俸四千圓ヲ給ス

海軍軍醫少監、小島 政治

英國駐在中加俸參千五百圓ヲ給ス
海軍造兵大技士 吉川 晴十

英國駐在中加俸參千五百圓ヲ給ス
海軍造兵大技士 山家 信次

○大正三年八月二十八日
海軍書記正七位勳七等 山口 八郎

(各通) 海軍書記勳七等 弓削 龜之介
海軍書記 久保田惣之助

兼任海軍屬
海軍大臣官房附ヲ命ス 海軍屬 山口 八郎

(各通) 海軍屬 弓削 龜之介
海軍屬 久保田惣之助

海軍省經理局附ヲ命ス
臨時海軍建築 齋藤 利彦

(各通) 臨時海軍建築 齋藤 利彦
臨時海軍技手 寺坂 寅治

兼海軍省經理局附ヲ命ス(以上均海軍省)

海軍公報第六百十五號 大正三年八月二十九日

六七九

0914

(秘 外 部)

海軍公報第六百十五號附錄

大正三年八月二十九日(土)

海軍大臣官房

○通牒

官房第二五四號ノ二

大正三年八月二十九日

海軍次官 鈴木貫太郎

各鎮守府司令官殿
各要港部司令官殿

軍需品内地品使用方ニ關シ官房第二四五四號ノ二ヲ以テ及通牒置候處更ニ別紙ノ通内閣書記官長ヨリ通牒アリ
右通牒ス

(別紙)

内閣農甲第四三號

大正三年八月二十六日

内閣書記官長 江 木 翼

海軍大臣八代六郎殿

通 牒

諸官署所要ノ物資ハ可成外國品ヲ避ケ内國品ニ據ルヘキハ擬ニ閣議決定ノ次第モ有之候處現下ノ狀態ハ適切ニ其ノ必要ヲ感スルヲ以テ此際特ニ一般吏僚ニ對シ此

海軍公報第六百十五號附錄

ノ精神ヲ徹底セシメ普ク勵行セシムルコトニ閣議決定相成候

海人第一〇八號

大正三年八月二十九日

海軍省人事局長心得 向井 爾一

各 應 宛

士官以上ニシテ海軍運送船ニ配乗セラレタルモノ、人事ハ海軍大臣官房ニ於テ取扱ハレ候條爲念右通知ス

○艦船所在

▲印ハ「ハホン」指定ヲ要セス

○八月二十九日午前十時調

〔横須賀〕 鞍馬、津輕、筑波、相摸、卜滿州▲、香取、

朝日▲、壹岐▲、橋立、夕風、疾風、山彥、

夕霧、叢雲、關東丸▲、栗橋丸、高崎丸、小樽丸、

水七一、水六八、白鷹、雉、巨鴻、鷗

〔横濱〕 巨水七〇、水六七

〔函館〕 千早、水二九、巨水六六

〔待撫〕 武藏

0915

【栢原灣】

大和

丹後▲生駒▲駒橋、追風、椅子山丸、水五九、
潛一、潛二、潛六、潛七、潛八、潛九、歷山丸、
豊橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、潛三、潜四、
潜五

【神戶】

榛名、初春、初雪、時雨

【門司】

嚴島、水五八

【佐伯】

三笠、若葉、朝風

【舞鶴】

日進、見島、鹿島、
淀橋丸、千鳥丸、鶴、水七五、水七三、水七二、
水七四

【敦賀】

真鶴、隼

【佐世保】

比叡、最上、河内、村雨、敷島▲、肥前、
沖島▲、白露▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、
長月、菊月、卯月、水無月、水三三、水六一、
水六〇、熊野丸▲、宮島丸▲、撫順丸、琉球丸、
柳丸、旭丸、神通丸、劍山丸、三河丸、雲雀、
鴉

【長崎】

霧島、不知火、薄雲

【馬公】

須磨、松江、不知火、薄雲

【旅順】

雁、鴿、蒼鷹

【大連】

燕

【上海】

伏見、鳥羽

【航海中】

猿橋丸(十九日佐世保發)

千歲、八雲、常磐、高千穂、千代田、利根、白妙、
野分、松風、綾波、磯波、浦波、朝潮、白雲、陽炎

(佐世保發)

三池丸(二十一日佐世保發)

明石(二十一日旅順發)

出雲(二十二日桑港發)

白雲(二十三日佐世保發)

福州丸(二十三日佐世保發)

鷺(二十三日佐世保發)

秋津洲(二十三日佐世保發)

朝鮮丸、櫻提丸(二十三日佐世保發)

磐手(二十三日佐世保發)

曙(二十四日函館發大湊)

周防、石見(二十四日佐世保發)

朝霧(二十四日佐世保發)

對馬、宇治、淀、嵯峨(二十四日上海發)

第二長門丸、第六長門丸(二十六日佐世保發)

伊吹(二十六日宮島沖發)

金剛(二十六日橫須賀發)

新高(二十六日佐世保發)

筑摩(二十六日佐世保發)

霞丸(二十六日佐世保發)

玄海丸(二十七日橫須賀發函館)

0916

ト春日(二十七日吳發馬公へ)

沙首丸、第三西宗丸(二十七日佐世保發)

ト攝津、薩摩、ト矢矧、笠置、平戸、ト音羽、ト彌生、有明、吹雪、霞、響、ト如月、初霜、神風、ト山風、海風、ト橋、櫻(二十八日佐世保發)

韓崎、ト潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三(二十八日吳發豊後水道へ)

安藝(二十八日倉橋灣發佐世保へ)

若宮丸(二十八日佐世保發)

ト春風(二十八日神戸發紀淡海峽へ)

鹿兒島丸(二十八日佐世保發)

第五長門丸、第八長門丸(二十八日佐世保發)

漣丸、文月丸、皐月丸(二十九日館山發洲本へ)

子日(二十九日徳山發)

○雜款

○郵便物送附先

第一艇隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度旨通知アリ

第一艇隊司令部及第六十八號、第七十一號水雷艇

宛ノモノハ横濱港務部氣付

第六十七號及第七十號水雷艇宛ノモノハ神奈川縣

田浦局區内横須賀防備隊氣付

軍艦安藝宛郵便物ハ佐世保郵便局氣付ニテ發送相成度

旨通知アリ

軍艦春日宛郵便物ハ佐世保郵便局氣付ニテ發送相成度旨通知アリ

○通信

第三艦隊宛電報ハ馬公無線ニ依ルヲ便トス

0917

海軍公報

第六百十六號

海軍大臣官房

大正三年八月三十日(日)

○通牒

官房第二五三九號
大正三年八月三十日

海軍次官 鈴木貫太郎

各鎮守府
各艦隊 參謀長殿
各要港部

無線電信通信方ニ關スル件
無線電信ニ依ル通信ニシテ往々發信者名及發信位地不明ナルモノ有之候ニ付テハ發信者及中繼者ニ於テ相當ノ注意ヲ拂ハルル様致度
右申進ス

經糧第六六號

大正三年八月三十日

海軍省經理局

第一、第二、各艦主計官殿
第三、艦隊

糧食給與狀況報告ノ件

貴艦糧食給與中乾麵麴、貯藏獸魚肉及乾物ノ供食狀況承知致度候條當分ノ内別紙書式ニ依リ九月以降毎月分ヲ翌月初頭ニ報告有之度
右照會ス

大正年

月分 供食狀況報告

軍艦何々

日附及碇泊 航海別	供食品	日附及碇泊 航海別	供食品	日附及碇泊 航海別	供食品	日附及碇泊 航海別	供食品
一日 航	□	三日 同	□	五日 同	□○	七日 碇	
二日 同	○△	四日 同	×	六日 同	□△×	八日 同	

海軍公報第六百十六號

大正三年八月三十日

六八一

0918

<p>○ 滞在地變更 海軍少佐淺海清一ハ東京ニ滞在地變更ノ儀八月二十九日認許セラレタリ</p> <p>○ 雜款</p> <p>一、日附ノ下碇泊中ハ碇、航海中ハ航ト記載スヘシ</p> <p>備考 一、供食品ハ左ノ符號ヲ以テ掲記スルモノトス □ 乾麵包 ○ 罐詰獸肉 △ 罐詰魚肉 × 乾物</p> <p>海軍中尉愛澤武ハ横須賀ニ、海軍機關大尉森伊九郎海軍中計熊倉廣次ハ東京ニ滞在地變更ノ儀八月三十日孰レモ認許セラレタリ</p>	九日	同日		十六日	碇	□△	二十三日	碇		三十日	同	
	十日	同	□×	十七日	同	○×	二十四日	同				
	十一日	同	○	十八日	同		計					
	十二日	同	△	十九日	航	○△	二十六日	同				□何回
	十三日	航		二十日	同	□○	二十七日	同				○何回
	十四日	同		二十一日	同		二十八日	航				△何回
	十五日	同	□	二十二日	同		二十九日	同				×何回

0919

(秘 外 部)

海軍公報第六百十六號附錄

大正三年八月三十日(日)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホフ
指定ヲ要セス

○八月三十日午前十時調

【横須賀】 鞍馬、津輕、相摸、ト滿州▲、香取、朝日▲、

壹岐▲、橋立、ト夕風、疾風、山彦、ト夕霧、叢雲、

栗橋丸、高崎丸、小樽丸、白鷹、雄、ト鴻、鷗、

水七〇、水六七。

【横濱】 巨水七一、水六八

【館山】 關東丸

【函館】 千早、水二九、巨水六六、玄海丸

【阿頼度島東方】 大和

【吳】 淺間▲、阿蘇、富士、宗谷、扶桑、龍田▲、

丹後、ト生駒▲、駒橋、追風、椅子山丸、巨水五九、

潛一、潛二、潛六、潛七、潛八、潛九、歷山丸、

豐橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、潛三、巨潛四、

潛五

【神戶】 榛名、初春、初雪、時雨

【門司】 嚴島、水五八

【徳山】 若葉

【佐伯】 韓崎、巨潛一〇、潛一二、潛二二、潛二三、

【舞鶴】

巨潮、朝風
鶴、三笠、吾妻、日進、見島、ト鹿島▲、
淀橋丸、巨千鳥、鶴、水七五、巨水七三、水七二、
水七四

【敦賀】

真鶴、隼

【佐世保】

比叡、最上、安藝、村雨、ト敷島、肥前、
沖島▲、巨白露▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、
巨長月、菊月、卯月、水無月、巨水三三、水六一、
水六〇、熊野丸▲、宮島丸▲、撫順丸、琉球丸、
柳丸、旭丸、劍山丸、雲雀、鷗

【長崎】

霧島、巨鷲

【馬公】

須磨、松江、巨不知火、薄雲

【旅順】

巨雁、鶴

【大連】

蒼鷹

【上海】

阴田、伏見、鳥羽

【航海中】

猿橋丸(十九日佐世保發)

ト千歳、八雲、常磐、高千穂、千代田、ト利根、巨白妙、

野分、松風、綾波、磯波、巨浦波、巨朝潮、白雲、陽炎
(佐世保發)

海軍公報第六百十六號附錄

0920

三池丸(二十一日佐世保發)
 明石(二十一日旅順發)
 出雲(二十二日桑港發)
 白雪(二十三日佐世保發)
 福州丸(二十三日佐世保發)
 鶴(二十三日佐世保發)
 秋津洲(二十三日佐世保發)
 朝鮮丸、擇捉丸(二十三日佐世保發)
 卜磐手(二十三日佐世保發)
 卜曙、臘(二十四日函館發大湊へ)
 卜周防、石見(二十四日佐世保發)
 朝霧(二十四日佐世保發)
 卜對馬、宇治、淀、嵯峨(二十四日上海發)
 第二長門丸、第六長門丸(二十六日佐世保發)
 伊吹(二十六日宮島沖發)
 卜金剛(二十六日橫須賀發)
 新高(二十六日佐世保發)
 筑摩(二十六日佐世保發)
 霞丸(二十六日佐世保發)
 春日(二十七日吳發馬公へ)
 沙首丸、第三西宗丸(二十七日佐世保發)
 卜攝津、薩摩、卜矢矧、笠置、平戸、卜音羽、卜彌生、有明、吹雪、霞、響、卜如月、初霜、神風、卜山風、海風、卜橘、櫻(二十八日佐世保發)
 若宮丸(二十八日佐世保發)

卜春風(二十八日神戸發紀淡海峽へ)
 鹿兒島丸(二十八日佐世保發)
 第五長門丸、第八長門丸(二十八日佐世保發)
 澁丸、文月丸、皐月丸(二十九日館山發洲本へ)
 子日(二十九日德山發)
 三河丸(二十八日佐世保發)
 神通丸(二十九日佐世保發)
 河内(二十九日佐世保發)
 武藏(二十九日得撫發色丹へ)
 筑波(二十九日橫須賀發)
 燕(二十九日大連發旅順へ)

○雜款

○旗艦變更
 吳鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ本月二十六日淺間ヨリ生駒ニ變更セル旨報告アリ

○正誤

昨二十九日公報附錄海人第一〇八號通牒中海軍運送船ハ陸軍運送船ノ誤

海軍公報

第六百十七號

大正三年八月三十一日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第二五四六號

明治三十七年官房第八六六號ニ依リ海軍大臣ノ認許ヲ受ク拿捕品ヲ賣却ニ付スルトキハ會計法規ノ規定ニ依リ取扱ヒ其ノ結果ヲ報告スヘシ

大正三年八月三十一日

海軍大臣 八代 六郎

○辭令

宇野 彌太郎

海軍經理學校糧食調理實行教員囑託ヲ解ク(以時海軍省經理局)

海軍公報第六百十七號 大正三年八月三十一日

六八三

0922

海軍公報第六百十七號附錄

大正三年八月三十一日(月)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ、ハホフ
指定ヲ要セス

○八月三十一日午前十時調

【横須賀】 津輕、相模、卜滿州▲、香取、朝日▲、壹岐▲、

橋立、巨夕風、疾風、山彦、巨夕霧、叢雲、栗橋丸、

高崎丸、小樽丸、白鷹、雄、巨鴻、鷗、水七〇、水六七

【函館】 敷波丸、卷雲丸

【阿頼度島東方】 千早、水二九、巨水六六

【根室】 武藏

【吳】 淺間▲、阿蘇、富士、宗谷、扶桑、龍田▲、

丹後、卜生駒▲、駒橋、巨潮、子日、朝風、若葉、

椅子山丸、巨水五九、潛一、潛二、潛六、潛七、潛八、

潛九、歷山丸、豊橋丸、梅丸、硯海丸、八幡丸、

潛三、巨潛四、潛五

【神戶】 榛名、巨春風、初春、初雪、時雨

【門司】 嚴島、水五八

【佐伯】 韓崎、追風、巨潛一〇、潛一一、潛一二、

潛一三

【舞鶴】 三笠、吾妻、見島、卜鹿島▲、淀橋丸、

巨千鳥、鶴、水七五、巨水七三、水七二、水七四

【敦賀】 眞鶴、隼

【佐世保】 比叡、最上、安藝、村雨、卜敷島、肥前、

沖島、巨白露▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、巨長月、

菊月、卯月、水無月、巨水三三、水六一、水六〇、

熊野丸▲、宮島丸▲、撫順丸、辨天丸、琉球丸、第三

長門丸、神丸、旭丸、劍山丸、雲雀丸

【長崎】 霧島、巨鷲

【馬公】 須磨、巨不知火、薄雲

【旅順】 磯波、巨雁、蒼鷹

【大連】 鶴

【上海】 陽田、伏見、鳥羽

【航海中】

猿橋丸(十九日佐世保發)

卜千歲、八雲、常磐、高千穂、千代田、卜利根、巨白妙、

野分、松風、綾波、巨浦波、巨朝潮、白雲、陽炎(佐世保

發) 三池丸(二十一日佐世保發) 明石(二十一日旅順發)

海軍公報第六百十七號附錄

出雲(二十二日桑港發)
 白雪(二十三日佐世保發)
 福州丸(二十三日佐世保發)
 鶴(二十三日佐世保發)
 秋津洲(二十三日佐世保發)
 朝鮮丸、擇提丸(二十三日佐世保發)
 卜磐手(二十三日佐世保發)
 卜曙、朧(二十四日函館發大湊へ)
 卜周防、石見(二十四日佐世保發)
 朝霧(二十四日佐世保發)
 卜對馬、宇治、淀、嵯峨(二十四日上海發)
 第二長門丸、第六長門丸(二十六日佐世保發)
 伊吹(二十六日宮島沖發)
 卜金剛(二十六日横須賀發)
 新高(二十六日佐世保發)
 筑摩(二十六日佐世保發)
 霞丸(二十六日佐世保發)
 春日(二十七日吳發馬公へ)
 日進(二十七日舞鶴發馬公へ)
 沙首丸、第三西宗丸(二十七日佐世保發)
 卜攝津、薩摩、卜矢矧、笠置、平戸、卜音羽、卜彌生、有明、吹雪、霞、響、卜如月、初霜、神風、卜山風、海風、卜橋、櫻(二十八日佐世保發)
 若宮丸(二十八日佐世保發)
 鹿兒島丸(二十八日佐世保發)

第五長門丸、第八長門丸(二十八日佐世保發)
 三河丸(二十八日佐世保發)
 神通丸(二十九日佐世保發)
 河内(二十九日佐世保發)
 筑波(二十九日横須賀發)
 燕(二十九日大連發旅順へ)
 鞍馬(三十日横須賀發)
 關東丸(三十日館山發佐世保へ)
 松江(三十日馬公發佐世保へ)
 玄海丸(三十一日函館發江刺へ)
 漣丸、皐月丸、交月丸(三十一日下田發洲本へ)